



<http://www.scout-ib.net/>

70周年を超えた 飛躍の年に

連盟長 関 正樹



新年あけましておめでとうございます。2022 年が皆様にとって希望の年となり、日本ボーイスカウト茨城県連盟が飛躍する年となることを祈念しております。

2021 年は世界的にも新型コロナウイルスが猛威を振るい大変な年でした。1 月と 4 月の 2 度にわたる緊急事態宣言の発出、第 5 波とよばれるデルタ株の大流行、医療の逼迫と自宅療養者の急増など、日本全体がコロナに翻弄されました。日本ボーイスカウト茨城県連盟でも、8 月に予定していた第 20 回茨城県キャンポリーが中止となり、11 月の 70 周年記念式典は 2022 年 2 月に延期となりました。また、多くの指導者研修やスカウト訓練が中止や延期となり、スカウト活動も自粛を余儀なくされました。

しかし、そのような状況にあっても、オンライン隊集会の開催や、スカウトが自宅で取り組める活動の工夫をされた団・隊も多くありました。また、これまで集まって対面で実施していた会議や研修がオンラインとなり、参加しやすくなった

り、時間や経費が節約できたりと、良い変化も生じています。ボーイスカウト運動を絶やさないために、多くのスカウト・保護者・指導者の皆様、関係諸団体の皆様にご尽力いただいたことに、深く感謝いたします。

日本ボーイスカウト茨城県連盟では、創立 70 周年を契機に「茨城県連盟の未来のための取り組み」をまとめ、「今」を変えることで、「未来」を創ろうと考えています。そのためには、スカウト運動の原点に戻り、子どもたちが楽しく自発的に活動するスカウト活動を展開しなければなりません。私も微力ながら連盟長として、茨城県やボーイスカウト振興茨城県議員連盟、ボーイスカウト茨城県連盟維持財団などの行政・諸団体と連携協力して、この運動の発展に尽力したいと考えています。

日本ボーイスカウト茨城県連盟が、70 周年を超え「未来」に羽ばたく飛躍の年となるよう、隊・団・地区・県連盟が力を合わせて取り組んでまいりましょう。

70th ANNIVERSARY

70 周年記念式典



2月23日(水)
13:00-13:30

ZOOM オンライン配信

記念式典は、ZOOMのウェビナーで配信します。視聴するにはZOOMアプリがインストールされたパソコン・タブレット等が必要となります。インストールおよびアクセスの方法については別途団宛のメールや県連ホームページにてご案内します。また、当日は12:30-13:00に70周年記念式典プロローグとして「茨城県連盟70周年の歩み」を配信します。受信環境のチェックを含めてご覧ください。

◆ 茨城県連創立 70 周年記念式典 2/23 実施

茨城県連盟創立 70 周年記念式典は、コロナウイルスの第 5 波により、11 月に土浦市の霞ヶ浦総体育館で実施するところを、**2 月 23 日（祝：天皇誕生日）**に延期して、オンラインで実施することになりました。

式典は、水戸にある県青少年会館に特設スタジオを設けて、コロナの感染防止対策を十分にした上で、最小限の人数で実施するべく、現在、式典に向けて準備を着々と進めているところです。

しかしながら、現在オミクロン株の第 6 波が急激に拡大してきており、状況によっては、スタジオ以外からの配信になるかもしれません。

さて、記念式典の式次第（案）は、下記の通りです。

12:30 ~ 13:00 70 周年記念式典プロローグ

- 茨城県連盟 70 年の歴史 他

13:00 ~ 13:30 70 周年記念式典

- ① オープニング
- ② 国旗儀礼
- ③ テーマ紹介「Catch The Scouting Sprit
三指がつなぐ、ひとつの想い
～過去、今、そして未来へ～」
- ⑤ 式辞（関連盟長）
- ⑥ 来賓祝辞（大井川知事、奥島総長）
- ⑦ 感謝状贈呈
- ⑧ 「ちかい」の再認
- ⑨ 「おきて」の唱和
- ⑩ 70 周年 YEAR プログラムの紹介
（過去～今） 作文コンテスト優秀作品発表
（今、つなぐ） リレーソングの発表
（未来へ） アケーラの森記念植樹 等
- ⑪ 謝辞（八木理事長）
- ⑫ エンディング

※記念式典の実施時間は、内容により多少延長する場合があります。

※また、式次第の内容、順序は変更になる場合があります。予めご承知おきください。

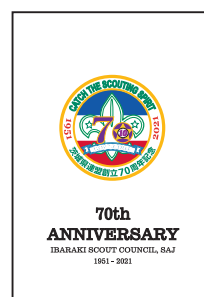
※記念式典は、ZOOM のウェビナーで配信する予定です。視聴するには ZOOM アプリがインストールされたパソコン・タブレット等が必要となります。インストール方法については別途団宛メール、及び県連ホームページにてご案内します。

※視聴用の ZOOM の ID、パスワードは、後日、団宛に連絡致します。

※式典を視聴される場合、加盟員（スカウト・指導者等）は、スカウトの制服にて、ご視聴ください。

● 70 周年記念品について

- ・ 70 周年記念式典をご覧いただいたスカウト、指導者等には、70 周年特製クリアファイル（A4 版、3 枚セット）を進呈します。配付は、団を通しての配付となります。
- ・ 「わくわく自然体験遊び」や地区・団行事で外部の参加者への記念品として配付を希望される場合は、希望配付価格 300 円のところ、税込み 200 円で頒布します。数量に限りがありますので、県連事務局にご相談ください。



● 70 周年ネームプレートデータの提供

- ・ 県連事務局では、70 周年記念事業の一環として、スカウトショップで販売しているネームプレート（商品番号 31209 / 187 円）に貼付する、テプラテープ用のデータを提供しています。
- ・ 作成するには、PC に USB 接続できる「TEPRA Pro」本体（テープ幅 24mm が使用できる機種）に KING JIM が提供する「テプラ」ラベルエディターをインストールした Windows PC（対応 OS: Windows 11/10/8.1/8）が必要となります。



- ・ プレートの縦 27mm に対し、テープ幅は 24mm ですので上下 1.5mm ほどプレートが露出します。濃い色のテープを使うと、上下に白のアクセントとなります。

◆「隊の活性に向けたスカウトハンドブックの活用」 説明会

2017年に一本化されたボーイスカウト部門とベンチャー部門の進級課程について、2019年10月には、ボーイ隊を対象としたスカウトハンドブックベーシックが発行され、そして昨年2月にはベンチャーを対象としたスカウトハンドブックアドバンスが発行されました。そして、現在発行準備をしている「ジュニアリーダーハンドブック」の3つで、ボーイ・ベンチャー部門のスカウト向けのハンドブックが揃います。

このスカウトハンドブックの前者2冊は、これまでのスカウトハンドブックとは異なるコンセプトで作成されており、即スカウト活動の現場で役立てられるようになっていきます。しかしながら、本来あるべきの正しいスカウティング（班制度、進歩制度、スカウティングはゲームである等）が行われていることを大前提に書かれているため、それを推進する指導者が、それを十分にかつ正しく理解している必要があります。

そのため、5月に実施された日本連盟の全国大会のテーマ集会で、その活用のノウハウについて説明したところ、全国各地から説明会を開催してほしいとのオファーがあり、茨城県連盟においても説明会の開催をお願いしてきました。

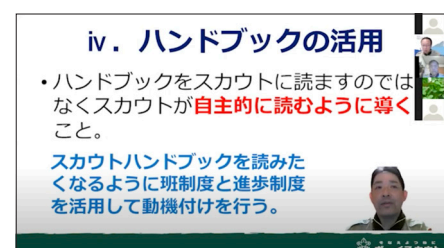
そして、2021年12月18日に念願の説明会が、日本連盟のプログラム委員会の神保講師によりオンラインにより開催されました。40人の参加者は、神保講師の話される内容に驚きと共感するとともに、多くの気づきがあり、原隊での活動に大きなヒントを得られたようでした。

【参加者の感想より】

- ここ数年かけて見直されてきた活動方針、方法につき、なんとなくついていけなかった部分が、ハンドブック説明会でクリアになったのがとても新鮮な驚きでした。明解でポイントを繰り返し押さえていただいた説明がとても腑に落ちました。ありがとうございました。
- 進歩がなかなか進まず、どうしたものかと考えていました。スカウトハンドブックが読みたくなるように活動に仕組みをすること。そして、スカウトのズボンのポケットの右に進級手帳、左に進歩の手引きを入れて活動に参加すること。班長は、

都度サインをすること。班長を憧れの存在に育てることは、スカウティングが楽しく、スカウト中心の隊活動の展開につながるということがわかりました。また、ベンチャースカウトがジュニアリーダーとしての活躍ができるように、これまで以上に仕組んでいくべきだと思いました。

- 大きな課題を突きつけられた感じです。今の茨城のスカウティングを、本来の子供（スカウト）が中心となったものにしていくこと、そのために指導者の意識がどう変わっていくか・・・特に昔からのスカウティングが体に染みこんでいる OLD BOYS たちの・・・また、この運動に入った若き指導者にどのような研修提供されるのか、トレーニングチームやコミッショナーをどう対応していくのだろうか・・・今までも問題とと思っていましたが、コトの重大さに改めて気づかされました。
- あつという間の研修会でした。スカウティングを自分自身ももっと楽しみたいと思いました。ありがとうございました。
- スカウトハンドブックの位置づけが理解できました。
- 新しいスカウト HB の行間までわかる、ということでしたが、制作の意図はよくわかりました。
- ベンチャーの活動のまとめが明確で、新しい体制（ボーイ、ベンチャーの関係）に合わせて今年度からジュニアリーダーに重きを置いた活動形態にしたことが間違いはなかったと、確信が持てた。
- 今回の説明会は、新鮮であり、ボーイ、ベンチャーがゆるやかに一体になって活動することが、現在の一部問題の解決策になること、それがハンドブックという形で出来上がっていることを学べてとてもよかった。このように、現在あるツールをより有効に活用するための説明会は有効である。
- スカウトハンドブックの説明であったのだが、その方法の基礎になっている考えが、少し理解できてよかった。
- 単にハンドブックを読む、利用するだけでなく、制作の背景や意図を理解できた。
- 本来のボーイスカウトの方法である「班



制度」「進歩制度」について、即実践に繋げられるように構成されていること、そして「アドバンス」「ジュニアリーダー」をセットにすることで、隊運営の強力な指導書となっている。（日連として）これまでない取り組みであることが解り、現場のスカウティングを修正し、より効果的なものにしていくには、どう進めていけばいいのか、何に注意し、どんなココロ（意識であり意志）で取り組んで行けばいいのか、大変良く分かりました。

○ありがとうございました。ハンドブックはスカウティングフォアボーイズの現代版であることを認識しました。

【参加しそびれた指導者の皆さんに】

12月18日の説明会に参加できなかった指導者の皆さん、また、再度聞きたいと思っている指導者の皆さんに、12月18日のオンライン説明会の録画を放映します。

○日時 2月5日（土、指導者研修の日）
20:00～22:00

○オンラインにて
（ZOOM）

○視聴には、事前登録が必要となります。ちょっと面倒ですが、（県連 HP からお入りください）。また、視聴後のアンケートへの回答をお願いします。登録いただいた方には、ZOOM ウェビナーへの参加 URL をお送りします。

○対象 県内の全ての指導者
（BS や VS の指導者だけでなく BVS や CS の指導者にとっても、本来のボーイスカウトのあり方を知ることはいへん重要です。また、指導者を任命する団委員会の方々にとっても、隊の運営の基本を知ることとはとても重要なこととなります。）

◆ IB-GP 県大会 2021 (競技規則等) について

さあ、あと2ヶ月で待ちにまっ IB-GP が開催されます。昨年11月に実施よていだったのが、コロナの第5波のために3月に延期となりましたが、またしてもコロナの第6波が到来して、開催に暗雲が立ちこめています。

しかしながら、今年こそはスカウトが参加してのIB-GPにしたいと願っています。

さて、ここに大会スケジュールと競技規則を掲載しますので、各地区で準備をお願いします(この記事は県連ホームページに9つに掲載されたものの転載です。)

1 県大会日時

令和4年3月23日(日)を予定

2 会場

「道の駅かさま」を予定

3 内容

各地区代表によるクラス別競技

Bクラス・・・ビーバー

Cクラス・・・カブ

Aクラス・・・ボーイ以上

4 競技方法

・特設コースにおける、トーナメントによる競技

・各クラスごとに優勝・準優勝・3位を表彰

5 地区選抜数

・別紙「IB-GP2021 県大会規則」参照

6 競技規則

後述

7 参加申込

・別紙参加申込書に、クラス毎にご記入し、

3月4日(金) 必着

で県連事務局まで申込みください。

8 注意事項

・レギュレーションについて出場前に再度確認してください。

・当日車検に通らず出場できないことがないよう、出場者及び隊指導者に注意を促すようお願いいたします。

※よくある例: キットを利用し車体を作製したが、前後左右に装飾を取り付けたため規定寸法をオーバーする(紙粘土や装飾品が車体(キット)からはみ出ている)。

【IB-GP2021 県大会規則】

1. 出場資格

- ・IB-GP2021の競技車両規則に適合した車両であること
- ・各地区において選抜された車両であること

2. 各地区の選抜基準

- ・各クラス(B・C・Aクラス)毎に、地区規定台数3台に下記の台数加えた数を上限とする

3. 競技形式と表彰

- ・各クラスごとのトーナメント形式
- ・上位3台を表彰する

【IB-GP2021 競技規則】

○全てのレースカーは、レース参加に際し、競技委員による「車検」を受けて合格しなければなりません。

「車検」とは、レースカーが競技車両のルール」に従って作られているかを確認することです。

また、車検を受けた車は、その後は全てのレースが終了するまで、競技委員以外の人が触れることはできません。

○レースは、カテゴリー(後述)別に、トーナメント形式で行われます。レースの走行順序は、レース開始前に決定します。各レースは基本的に3台で行われます。

○走行するコースによる走行条件の違いはほぼないことがわかりましたので、各トーナメントのレーンは大会側で指定します。

○各レースの結果は、フィニッシュラインの上を車両の鼻先が通過した時の着順で3人の審判員が判定します。(着順の異議・抗議は受け付けません)

○レース中、もしくは待機中にレースカーが破損するなど、車検時と異なる状態になった場合は、走行可能であっても、再度車検を受けて合格しなければ、以降の出走は認められません。

○レースカーがコースを脱輪し、他のレースカーの走行を妨害した場合は、レースは再度やり直しとなります。同じレース



カーが他のレースカーの走行を2回妨害した場合は、その車は失格となります。

○フィニッシュライン(ゴールライン)より手前でレースカーが停止した場合は失格とみなします。以降の出場は認められません。

【IB-GP2021 車両規則】

○車両の大きさ

- ・車幅 100mm 以内
- ・車長 200mm 以内
- ・車高 150mm 以内

○車両の重さ

- ・車重 500g 以内(走行状態で)

○走行関係

- ・最低地上高 10mm 以上
- ・左右のタイヤの内側の距離 65mm 以上

○車両の材質、形状

- ・シャーシ(タイヤを取り付ける基礎部分): 木材に限る(Aクラスを除く)。形状は自由。
- ・ボディ(シャーシの上に乗せる本体)のデザイン(形、色、材質): 自由。
- ・車体は、1つの木材を削り出す等加工しても、複数の部材・材料を接合させても可
- ・タイヤは、F1のように車体の外側でも、ツーリングカーのように車体の内側でも可。
- ・デザイン上必要と思うもの(ウイング、スポイラー等)は、レギュレーションの範囲内であれば可。

○その他

- ・車体の上部には、大会が定めたゼッケンを貼付し表示するため、横3cm×縦2.5cmの平面のスペースを設けること。

※上記以外は県連ホームページをご覧ください。

◆ 第 18 回日本スカウトジャンボリー この夏開催

4 年に 1 度開催されるスカウトの祭典「日本スカウトジャンボリー」が、この夏開催されます。

これまででは、1 つの会場に会して交友を深めてきましたが、今回は、コロナ禍の中でリスクを最小限に抑えるため東京の中央会場と全国 5 つのサテライト会場（宮城、埼玉、神奈川、熊本、そして茨城）で実施されます。

茨城県連盟では、このうちの 1 つの「関東ブロック 高萩スカウトフィールドサテライト会場」を担当します。

一昨年実施予定の第 20 回茨城県ジャンボリーが延期となり、さらに昨年中止となり、平成 30 年の第 17 回日本スカウトジャンボリー以来、ボーイスカウトの大会は開催されておらず、スカウトの皆さんは悶々としていたと思いますが、今回は地元茨城で参加することができます。是、参加しましょう。

【ジャンボリー情報】

ジャンボリーの情報は、日本連盟のホームページで見ることができます。(https://www.scout.or.jp/member/18nsj_hp_op/)

詳しい情報が掲載されている「ジャンボリー・インフォメーション」は、現在 2 号まで発行されており、上記日連ホームページから見るすることができます。詳しい情報を手に入れましょう。

【ジャンボリー・グッズ】

一部発売中です→ 18NSJHP で。



【高萩 SF サテライト実施要項 (案より抜粋)】

【目的】

第 18 回日本スカウトジャンボリーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により停滞しているスカウト活動の再興を目指し、ボーイスカウト日本連盟創立 100 周年記念大会として、本大会に参加する青少年たちが、平素培ったスカウト訓練を基盤により多くのスカウト仲間との相互交流を通じて、日本連盟創立 100 周年を目指した中長期計画にある、冒険的で楽しい野外活動を行ないながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会とする。新たな様式での大会開催としての分散開催の一助として「18NSJ 高萩 SF サテライトを設置し、東京ジャンボリー大集会、全国スカウトキャンプに寄与することを目的とする。

【名称】

関東ブロック高萩 SF サテライト会場

【期間】

2022 年 8 月 5 日(金)～10 日(水)
(5 泊 6 日)

【場所】

「大和の森」高萩スカウトフィールド

【テーマ】

「100+F ～自分の f を探せ～」

【参加費】

ジャンボリーへの参加費は、「共通参加費」+「サテライト参加費」となります。

【参加者および参加形態】

参加者は、県内および関東ブロック内・近隣の県連盟所属の加盟員であ



るボーイスカウトおよびベンチャースカウトを対象とします。参加形態は、原則として現行の隊や地区を基本として「班」を編成、班には引率する指導者が付くこととします。配給は 1 ユニット(10 名)ごとに実施する予定です。

【SDGs への取り組み】

すべての期間において SDGs を意識し、ゴミの削減、フードロス削減対策、掃除の徹底などを推奨します。

【プログラム】

- ・会場内のプログラム(日本プログラム 3 種「我が旗かざし・班旗立て」「火を絶やすな・火おこし」「ジョン・ブラン・手旗信号リレー」、他)
 - ・場外プログラム(有料プロモ)
 - ・宗教儀礼
- を予定しています。

【野営生活】

- ・参加形態に即した、隊や班のサイトを設けます。
- ・使用するテントは、コロナ感染症対策として、個人用ソロテントまたは 23WSJ 仕様バディテントを原則とします。

※他のサテライトへの参加

茨城のスカウト隊・班は、高萩スカウトフィールドサテライト会場以外の、サテライトに参加することも可能です。ただし、その場合は申込方法が異なったり、抽選となることがあります。



SC-IB Newsletter

SC-IB (Scouting Ibaraki) Newsletter 2022 年 1 月号 通算 23 号

2022 (令和 4) 年 1 月発行

発行 日本ボーイスカウト茨城県連盟事務局

〒310-0034 水戸市緑町 1-1-18 茨城県立青少年会館 3F

※ SC-IB Newsletter は、不定期で発行しています。

※ SCOUTING 茨城に掲載されている写真・文章等は著作権法等により保護されています。著作権者に無断の複写・転載は堅くお断りいたします。